

令和元年度第1回奈良市体育施設指定管理者選定委員会会議録	
開催日時	令和2年1月10日（金） 午後1時30分から
開催場所	奈良市役所 北棟2階 第16会議室
議 題	1. 事務局からの説明 2. 署名委員の指名 3. 奈良市体育施設の指定管理者選定に係る書類審査 ① 奈良市中央武道場等4体育施設 ② 奈良市八条コミュニティスポーツ広場 ③ 奈良市鴻ノ池陸上競技場等11体育施設
出席者	委 員 馬場委員長、高橋委員、星野委員、深村委員、中川委員
	事務局 池田スポーツ振興課長、北森課長補佐、森田課長補佐、小嶋係長、岡本、森本
開催形態	公開（傍聴人 5人）
決定事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 奈良市中央武道場等4体育施設、奈良市八条コミュニティスポーツ広場の各施設の指定管理者に応募のあった団体の書類審査を行い、指定管理者の候補者として決定した。 ・ 奈良市鴻ノ池陸上競技場等11体育施設の指定管理者に応募のあった2団体の書類審査を行い、2団体を面接審査の対象となる申請団体として決定した。
担当課	市民部 スポーツ振興課
議事の内容	
<p>1. 事務局からの説明</p> <p>事前承諾事項の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員長は、馬場委員とする。 ・ 奈良市情報公開条例第29条の規定に基づき、今回の会議は公開とする。 ・ 次回の『奈良市鴻ノ池陸上競技場等11体育施設』の面接審査は、面接の順番により応募者に不利益が生じないように非公開とする。 ・ 『奈良市体育施設指定管理者選定委員会運営要領』、『公募・非公募施設の各奈良市指定管理者選定委員会審査要領』、『公募・非公募施設の各奈良市指定管理者選定委員会審査項目表』を基に審査する。 <p>2. 署名委員の指名</p> <p>会議録の署名委員を、馬場委員長と中川委員とする。</p> <p>3. 奈良市体育施設の指定管理者選定に係る書類審査</p> <p>①奈良市中央武道場等4体育施設の指定管理者の候補者の選定（非公募・書類審査）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員による質問 <ul style="list-style-type: none"> ・ 武道でまちづくりという部分に対してどのような形のイメージを持っているのか。 	

⇒武道だけでなく会議室等を使って健康体操や幼児・園児の体操を行う等も行っていきたい。また、運動公園の中にあるので、武道施設の中だけでなく、施設の周りで行える行事も取り入れたい。その中で、地域の方と一緒にできるようなものも展開していき、武道の認知もしてもらいながら発展につなげていきたい。

・令和2年度の指定管理料の提案額を審査するにあたり、前年度の予算等の比較できるものはあるか。

⇒中央武道場等4体育施設のみでの指定管理を行うのは初めてであり、比較することが難しい。

・年間365日開場を目指すことについて、現状どういった開場状況であるのか。また、年間365日開場した場合の職員への負担は大丈夫か。

⇒毎年年間365日開場を目指して行っているが、なかなか職員が回らない状況である。その中でも年末年始の休館日の短縮、休館日も自主事業等を行い、年間365日開場する意気込みでやっている。

・利用者満足度を図るためにどういった工夫をしているのか。

⇒アンケートやご意見箱等を設置して意見があればすぐに実行する。武道関係においては、ニーズに応じて早朝や夜間まで開場し、コミュニケーションを取りながら専任者による指導を行って満足度を上げていく。

・施設の老朽化において、市で対応するしかないのか。

⇒少額な修繕であれば指定管理者でお願いすることもあるが、それ以外は市で対応する。

・インバウンドを対象にした教室について、弓道体験以外で行っていることはあるか。

⇒体験を行っているのは弓道だけであるが、年に5、6件ほど日本の旅行会社と連携を取って海外の修学旅行生を対象に武道教室の見学を行っている。

- ・ 審査項目表により採点
- ・ 委員の審査項目表を集め、事務局で採点集計
- ・ 委員による採点集計表の確認
- ・ 事務局から採点集計の報告
- ・ 書類審査の結果に基づき、中央武道場等4体育施設の指定管理者に申請のあった「一般財団法人奈良市総合財団」を候補者として決定した。

②奈良市八条コミュニティスポーツ広場の指定管理者の候補者の選定（非公募・書類審査）について

・ 委員による質問

・ 申込書方法はどのようなものか。

⇒指定管理者に直接電話をしてもらう。

・ 草刈りについての頻度はどのようなものか。

⇒年2回行っている。

・ 去年の報告書を参考にすると、指定管理料年間40万円でもよいのではないか。

⇒年によって水道料金や修繕費が変わるので、年間42万円が妥当であると考えている。

・利用実績はどのようなものか。

⇒利用者数について、平成30年度は895名、平成29年度は2834名、平成28年度は2481名の利用があった。

- ・ 審査項目表により採点
- ・ 委員の審査項目表を集め、事務局で採点集計
- ・ 委員による採点集計表の確認
- ・ 事務局から採点集計の報告
- ・ 書類審査の結果に基づき、八条コミュニティスポーツ広場の指定管理者に申請のあった「八条第二自治会」を候補者として決定した。

③奈良市鴻ノ池陸上競技場等11体育施設の指定管理者の候補者の選定（公募・書類審査）について

・ 委員による質問

・ これまでの指定管理の区分けはどういったものか。

⇒長谷川体育施設・キタイ設計グループが、鴻ノ池陸上競技場・鴻ノ池球場・鴻ノ池コート、ミズノ・奈良市総合財団グループが、南部生涯スポーツセンター・柏木コート・柏木球技場、一般財団法人奈良市総合財団が、中央体育館・中央第二体育館の指定管理者となっている。

・ 一括管理することによって以前と何が変わるのか。

⇒トータルコストの削減や各施設の行事の把握・連携を図れるので、駐車場混雑の緩和や利用者への事前通知等、利用者に気持ち良く使用してもらえる為の体制を整えることができると考えている。

- ・ 審査項目表により採点
- ・ 委員の審査項目表を集め、事務局で採点集計
- ・ 委員による採点集計表の確認
- ・ 事務局から採点集計の報告
- ・ 書類審査の結果に基づき、奈良市鴻ノ池陸上競技場等11体育施設の指定管理者に申請のあった第1位の「奈良市スポーツまちづくり推進パートナーズ」と第2位の「長谷川体育施設・キタイ設計・Real Style グループ」の2団体を面接審査の対象となる申請団体として決定した。